

生物多様性地理情報データベースについて

1 目的

生物多様性の保全・再生及び利用のための基礎データを地理情報データベースとして構築する。

2 入力データ

動植物の標本・文献から分布等の情報を入力する。

3 使用事例

- (1) 生物多様性の地域評価
- (2) レッドリスト見直しの基礎資料
- (3) ニホンザル・ニホンジカ等の生息状況の把握
- (4) 外来生物の生息・生育状況の把握

4 18年度事業

基本設計を行う。

自然公園等における保全と利用のあり方に係る調査について

1 目的

自然公園を中心として、広く県内の自然環境について概査を行い、その状況を把握する。また、特に自然公園を対象として、自然環境の状況、自然・民俗・文化的な資源を把握するとともに、公園利用者の意識やニーズを把握するためのアンケート調査やヒアリング調査を実施する。これらをもとに、自然公園の保全と利用に関する課題を明らかにして、今後の自然公園のあり方の検討資料とする。

2 対象地域

県内の全自然公園。

南房総国定公園、水郷筑波国定公園

県立養老溪谷奥清澄自然公園、県立九十九里自然公園、

県立印旛手賀自然公園、県立高岩山自然公園、県立嶺岡山系自然公園、

県立富山自然公園、県立大利根自然公園、県立笠森鶴舞自然公園

3 調査方法

文献調査

現地調査

アンケート調査

ヒアリング調査